

新たな門出を祝って
飯南町成人式

8/15
水

飯南町成人式を、赤名農村環境改善センターで開催しました。式典では、香川隼人さんが新成人46人を代表して、「いろいろな試練が、私たちを待ち受けているかもしれないが、逃げることなく乗り越えていきたいと思っています。飯南町で育ったことを誇りに思い、それぞれの道で全力を尽くして、社会に貢献していくことを約束します」と誓いの言葉を述べました。

また、教え子の晴れ舞台に両中学校の恩師が駆けつけ、「この町で育んだ優しさを大切に」「大きな夢と大志を持って歩んでいってほしい」とエールを届けました。



新成人代表の香川隼人さん

節目の歳をふるさとで
30歳の成人式

8/14
火

今年度30歳(昭和63年度生まれ)を迎える人を対象に、道の駅頓原で「30歳の成人式」が開催されました。今は飯南町を離れて生活している人も多い中、ふるさとのことを考えてもらう機会を提供したいという思いから3年前に始まり、今年で4回目。参加者は、「故郷を考えるよいきつけになった」「40歳、50歳になっても、みんなでもまた集まりたい」と話していました。

会場は、久しぶりに会った同級生との尽きることのない会話で、いつまでもにぎわっていました。



懐かしい品を眺めて昔話に花が咲きます



祝 平成30年 飯南町 30歳の成人式

同級生の絆はいつまでも。両中学校の恩師の先生と一緒に



ゲームで盛り上がります



祝 飯南町成人式

新成人の皆さん

若者達の運動の祭典
頓原探検隊フェフ

8/12
日

交流センターとんぼら周辺を会場に、一風変わった競技の運動会「頓原探検隊フェフ」が開催されました。競技は、ラジオ体操や竹馬、フライパンやスリッパをフケット代わりにした卓球、三輪車レース、カラオケなど8種目。お昼には、流しそめん、はない茶屋の皆さんのカルフルカレーが振る舞われました。



「だるまさんが転んだ」はポーズ指定



三輪車で激走



デッドヒートを繰り広げる竹馬

この運動会は、20〜40代の会社員や学生などを中心に組織された実行委員会が企画。地域の若者の地域づくりへの参画や交流を目的に開催されました。この冬にも同様のイベントを企画する予定とのこと。



意外にもラリーが続く

地域の偉人をたたえる
野見宿禰顕彰之碑
除幕式

8/18
土



10月13日に町内で開催される、全国相撲甚句大会の記念行事の一環として建立

相撲の元祖「野見宿禰」をたたえる顕彰碑が飯南町上赤名に完成し、除幕式が執り行われました。

上赤名の呑谷はかつて「野見野」と呼ばれ、野見宿禰の支配地があったと伝えられています。

除幕式には、野見宿禰赤名相撲甚句会会員や出雲大社の関係者ら約60人が出席。相撲甚句会会長の赤穴憲一さん(下赤名)は、「相撲の元祖である野見宿禰がこの地にいたことは地域の誇り。後世に受け継いでいきたい」と話しました。